

陽だまりの庭で



LE JARDIN
DES
PLANTES

『まぼろしの市街戦』『リオの男』の巨匠
フィリップ・ド・ブロカ監督が贈る大人のためのおとぎ話。

パパはレジスタンスの英雄。
だけど、なぜ私たちに会いに来てくれないの？
おじいちゃんだけが秘密を知っているみたいでした。



戦争だったあの頃、私たちは王子様を夢見ていた。



ひ 陽だまりの庭で

ヌーヴェル・ヴァーグの立役者フィリップ・ド・ブロカ監督が贈る
甘くてほんのり苦い大人のためのファンタジー。

かつて、クロード・シャブロール監督『いとこ同士』、フランソワ・トリュフォー監督『大人は分かってくれない』ほか
数々のヌーヴェル・ヴァーグの名作に貢献。その後、ジャン＝ポール・ベルモンド主演『リオの男』
『カトマンズの男』で描いた明るくエネルギッシュなアドベンチャー・ワールドで世界中を席巻し、『まぼろしの市街戦』で
絶大な人気を獲得。あれから30年、いつまでも子供心を失わない永遠の少年フィリップ・ド・ブロカ監督が
今度は『もうひとつの『まぼろしの市街戦』』で夢とファンタジーあふれる素敵な感動を届けてくれます。

監督/脚本:フィリップ・ド・ブロカ 撮影:ヤノーシュ・ケンデ 美術:フランソワ・ド・ラモット 音楽:シャルル・クール
クロード・リッシュ(セザール賞名優) サロメ・ステヴナン カトリーヌ・ジャコブ「大喝采」 サミュエル・ラバルト「伴奏者」
VEREINIGTE FILM PARTNER/SON ET LUMIERE/TF1/CANAL+/MAFILM/MAECENAS FILM

ドドーン。バンバーン。

何だか外は騒がしかった。

戦争……みんながつらくて哀しかった時代。

バリ動植物園の管理人フエルナン・ボナールは、

園内に広がる庭の木々を見つめながら、

満足に餌をもらえない動物たちと暮らしていた。

運命の日。

それは孫娘の8回目の誕生日。

息子のアルマンと大喧嘩をした。

贅沢な暮らしよりも清貧な暮らしの美しさ。

そんなこだわりが彼からひとり息子を奪ってしまった

パパはどこ?

孫娘のフィリビヌが尋ねる。

パパはレジスタンスの英雄。

曇りがちに答えるフエルナン。

アルマンの足跡を探して、二人は今日もレジスタンスごっこ。

マタハリみたいなドレスを着て、

女スバイを気取りながら、

自転車に乗って、飛行船に乗って、

緑の彼方に広がる戦場を夢見るフィリビヌ。

それでもパパは見つかりませんでした。

やがて訪れる現実。

夢は嘘に変わり、愛は偽善に変わる。

けれど戦争はまだ続いていた。

人々はまだ英雄を信じていました。

そうです。今こそみんなで夢を演じる時がやってきました。

1944年、もうすぐパリは解放されようとしていた……。

「これはもうひとつの『まぼろしの市街戦』です!」



新宿シネマ・カリテ 3周年記念作品

10月10日(金)よりロードショー

特別鑑賞券¥1,400好評発売中(当日:一般1,800/学生1,500の処)

新宿武蔵野館

シネマ・カリテ 1

03(3354)5670

11:00/1:00/3:00/5:00/7:00(各回入替制)